

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0139
施設名	まごころ会保育園
施設所在地	東京都北区上中里2-37-2
法人名	宗教法人 聖正道教団

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動と発達

<テーマの設定理由>

運動は単に「足が速くなる」「筋力がつく」ということだけではありません。体をコントロールする運動は、脳を刺激し、集中力、感情のコントロール、自己肯定感、さらにはコミュニケーション能力を育む土台となります。「運動の根底にある発達のメカニズム」を保育者が理解し、日々の活動に生かせるため、このテーマを掲げました。

## 2. 活動スケジュール

昨年度は、年齢別の日常保育、異年齢の合同活動、の中で「運動と発達」プログラムを実践しました。各クラスでは、乳児のハイハイから幼児の集団競技まで、発達段階に応じた身体遊びを日々展開。サーキット遊びや季節の行事では、異年齢の交流を通して子ども同士の育ち合いを促しました。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

平均台、マット、バランス遊具、トンネル、乗り物玩具などを準備し、子どもたちがさまざまな身体の動きを楽しめるサーキット環境を設定しました。また、1歳児と2歳児と一緒に安心して活動できるよう、安全面に配慮しながら十分なスペースを確保した設定としました。。子ども自身が「やってみよう」と思えるよう、興味を引く配置や動線づくりを工夫した。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

1歳児クラスと2歳児クラスの合同で、身体を動かして遊ぶサーキット活動を行いました。平均台やマット、バランス遊具、乗り物玩具などを組み合わせ、子どもたちが自分でやりたい遊びを選びながら取り組める環境を設定しました。年上児が年下児の姿を気に掛けたり、真似をしたりする様子も見られ、異年齢ならではの関わりの中で活動を楽しみむ姿が見られました。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動中は、「みて!」「できた!」「もういっかいやる!」など、楽しみながら繰り返し挑戦する姿が見られました。子ども同士で順番を待ちながら友達の姿を見たり、真似をしたりする様子もあり、異年齢児同士の自然な関わりにつながっていく結果が得られました。ちょっと難しそうでも保育者の顔を見て、サポートすると勇気を出す姿も多くみられました。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

異年齢で活動することで、年上児が年下児を意識しながら関わったり、年下児が年上児の姿を見て挑戦しようとしたりする姿が多く見られたことはとても良かったです。また、自分で遊びを選択できる環境を整えることで、子どもたちが主体的に繰り返し取り組む姿につながることを実感しました。保育者が子どもの「やってみたい」という気持ちを受け止めながら関わることの大切さについて、改めて気付く機会となりました。